

観光社会資本の事例

テーマ	眺望満点、“世界最長懸垂式空中飛行鉄道”千葉モノレール
【施設の状況写真】	
 <p data-bbox="167 701 587 808">ゴムタイヤの台車が鋼鉄製の桁の中にあって、音は静かで乗り心地も優れています。</p>	 <p data-bbox="986 416 1353 483">動物イラストのラッピングした車両は、子供達から大人気。</p>  <p data-bbox="991 898 1342 1003">利便性と環境にやさしい乗り物として、市民から信頼されています。</p>
【施設の利用写真】	
 <p data-bbox="215 1469 762 1536">車両を貸し切ってプライベート空間とすることもできます。</p>	 <p data-bbox="818 1469 1353 1570">毎年秋に千葉市で行われるベイサイドジャズに車内がライブハウスとなるジャズトレインを運行しています。</p>
【観光資源としての利用状況】 <p data-bbox="167 1641 1430 1872">千葉モノレールは世界でも例の少ない懸垂式を採用しているため、車体の下には車輪や機器が搭載されていません。車輪はゴムタイヤで屋根上の走行桁の中にあるため走行音は静かで、車体もスマートです。また、高いところでは地上から30mもの高さを走行するため、車内から市街地を一望できるほか、天気の良いときは遠く富士山や筑波山も望むことができ千葉を訪れる多くの観光客を楽しませています。</p> <p data-bbox="167 1883 1430 2007">千葉モノレールはJR線と三箇所で直結し、その沿線には千葉市動物公園、千葉ポートタワー、美術館など観光施設、文化施設が点在しているため、モノレールに乗れば空中散歩気分で市内観光を楽しむことができます。</p> <p data-bbox="199 2018 1369 2056">また、懸垂式のモノレールでは営業キロ世界最長でギネスレコードに登録されています。</p>	

テーマ	眺望満点“世界最長懸垂式空中飛行鉄道”千葉モノレール
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 千葉モノレール</p> <p>所在地 千葉市中央区中央港 1(千葉みなと駅)～若葉区千城台北 3 丁目(千城台駅)</p> <p>事業名 モノレール整備事業</p> <p>事業主体 千葉県・千葉市</p> <p>事業期間 昭和63年度～平成11年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>千葉モノレールは、市街地での自動車急増により道路混雑や環境悪化等で深刻な交通問題を抱える千葉市の交通環境を改善するため、導入された交通機関です。</p> <p>懸垂式モノレールは急カーブでも走行でき、狭い市内での建設がしやすいことや、車輪がゴムタイヤで走行桁の中にあるため、風雨に強く走行も静かなことから採用されました。</p> <p>乗客は、昭和63年の開業以来2億人を超え、今や千葉市民にとってなくてはならない中心的交通機関となっており、モノレールを核とした街づくりの推進が行われています。</p>	
<p>【位置図】</p>  <p>千葉モノレール 路線位置</p>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>千葉モノレールホームページ <a href="http://www.chiba-monorail.co.jp">http://www.chiba-monorail.co.jp</a></p>	